

参加者紹介

登坂園芸

登坂初夫さん

魅力的なアジサイを作り続けています！

群馬県の北西部、自動車ですら20分走れば新潟県境そんな山の中で鉢物の栽培をしています。標高500m雪はあまり降りませんが寒さは厳しいです。夏は涼しく花の栽培をするのにはとても良い条件です。



今当園では春はアジサイ 9月から12月までルクリア 11~12月はシクラメンの出荷をしています。あまり特徴のあるような経営でないの、皆さんに紹介するようなものはないのですが、アジサイの栽培について少し紹介してみます。

アジサイの栽培を初めて10年位たつと思います。この気候では露地のアジサイは花が咲きません。冬の寒さで花芽が凍死してしまいます。しかし夏の気候は病害虫も少なく徒長もしないので苗養成には都合が良いのです。秋から初冬にかけての霜がうまく防げればアジサイの栽培が出来ると考えていたときに水で凍らせる話を聞きやってみました。結果はOKでした。それからアジサイの栽培が始まりました。シクラメンの出荷が終わるまではアジサイは露地で凍らせておき、シクラメンで開いたハウスに12月下旬にアジサイを取り込むことでアジサイの管理が出来た。この方法は暖房も冷房もしない。ただポンプの電気料だけで済むので**エコ**としても**有効**でした。



👉 アジサイを守るため、散水して凍らせています。



今は母の日のギフトを中心に群馬県アジサイ研究会オリジナルのフェアリーアイをメインに栽培しています。このアジサイは坂本正次さんが育種したもののひとつです。八重のガクアジサイですが、開花が進につれて手まりになってきます。その後グリーン(夏色)に、そして真っ赤な秋色に変化して行きます。このすばらしさに魅せられて今はアジサイに夢中です。シクラメンは4~5号サイズを栽培しています。

MPSに入会して農薬を出来る限り少なくしていますが、農場で一番農薬を使用するのがダニ剤です。ルクリアの葉に非常につきやすい、いろいろと工夫はするが思いようにならないのが現状、出来る限り周囲の環境を良くして病害虫が農場に近づけないように工夫はしています。



昨年より出荷用のケースにMPSのロゴを入れて出荷しています。このケースに入れて出荷するものは自分なりに自信を持って消費者の元に届けられるものを入れなくてはなりません。そのためには農場の管理から始まり肥料 農薬 エネルギーなどの管理をきちんとすることも大事です。そしてMPSの看板を掲げて営業してみたいと思います。